

3. 「開通式典」

開通式典では来賓の方々の祝辞が披露され、最後には増田知事や橋本県土整備部長などによるテープカット、くす玉開披が行われました。その後、地元「長安寺太鼓」の勇壮な演奏の中、パレードがスタートし、途中では「救急車緊急退出路」の使用開始式も現地で行われ、実際に救急車が退出路を利用するデモンストレーションもありました。

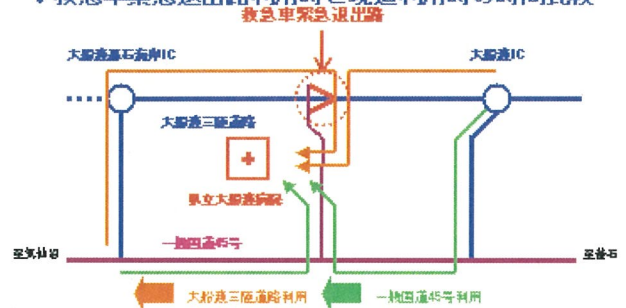


4. 開通後の主な整備効果

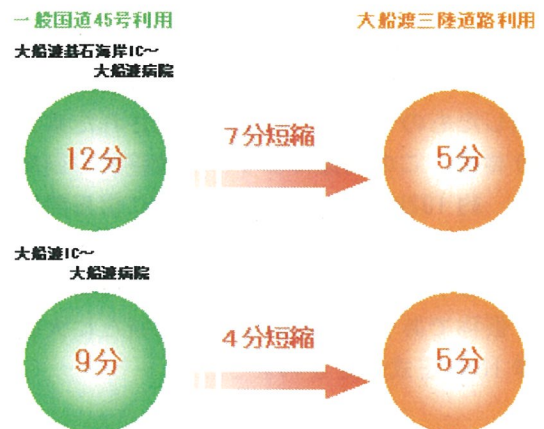
(1) 「救急車緊急退出路」利用による救命率向上！

この「救急車緊急退出路」は、東北では、山形自動車道、青森自動車道に次いで3箇所目となり、国土交通省直轄道路では全国初となるものです。この整備により、県立大船渡病院への患者搬送時間が短縮し、救急医療圏域の拡大が図られ、患者の救命率の向上に大きく貢献するものと期待されています。

▼救急車緊急退出路利用時と現道利用時の時間比較



救急車緊急退出路利用により最大7分時間短縮！！

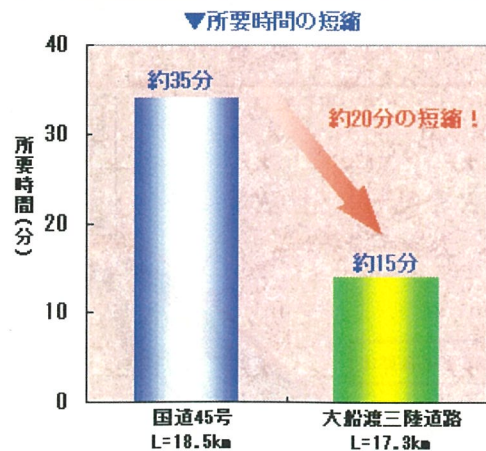


(2) 「70km/h 供用」による時間短縮！

「大船渡三陸道路」は本県の「三陸縦貫自動車道」では初めて70km/h 供用が実施されます。このことにより沿岸部においても、いよいよ高速交通がスタートすることとなり、走行時間の短縮に伴い、観光面や物流面で大きな効果が期待されています。

その他、移動時間の短縮や市街地での渋滞緩和により自動車排気ガス排出量が大幅に削減されるなど、沿道環境の改善が図られるといった効果が期待されます。

大船渡基石海岸IC～三陸IC(仮称)間の所要時間が約20分短縮！！



※国道45号の所要時間はH11交通センサスピーク旅行速度、大船渡三陸道路は最高速度の70km/hを用いて算出。

担当：道路建設課

参考資料：国土交通省三陸国道事務所